



引き続き高病原性鳥インフルエンザに警戒を

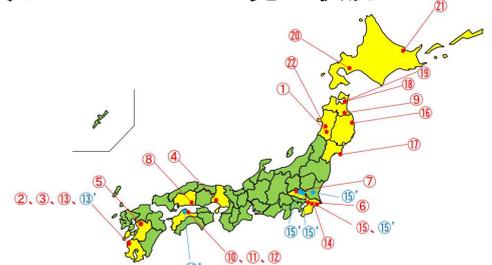
国内では、新年度に入っても依然として、高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生が相次いでおり、4月21日現在で既に**5例**(今シーズン18~22例目)の発生が確認されています。また、国内の哺乳類で初となるキタキツネ(札幌市内で3月末に回収された死亡個体)やタヌキ(札幌市内で4月に回収された衰弱個体)からもウイルスが検出され、感染野鳥を食べたことが原因ではないかと考えられています。

本県では、特にリスクの高い11月1日から翌年4月30日を高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間と定めていますが、家畜飼養者の皆様におかれましては、引き続き、**飼養衛生管理基準の遵守徹底による農場へのウイルス侵入防止対策の強化**とともに、**早期発見・早期通報**へのご協力をお願いします。

令和4年度HPAI発生状況(4月21日現在)

発生場所	発生日	農場	規模
青森県	R4.4.8	肉用鶏、平飼い	約17万羽
青森県	R4.4.15	肉用鶏、平飼い	約11万羽
北海道	R4.4.16	採卵鶏、ケージ飼い	約52万羽
北海道	R4.4.16	採卵鶏、だちょう(エミュー)	約600羽
秋田県	R4.4.19	採卵鶏、ケージ飼い	約400羽

今シーズンのHPAI発生状況



赤字: 発生農場
青字: 関連農場 参考: 農林水産省HP

熊本県高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対策マニュアルに基づく防疫研修会が開催されました!

熊本県では、鳥インフルエンザの発生に備え、人事異動後においても、迅速かつ的確に防疫措置を講じることができるよう、熊本県高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対策マニュアルに基づき、毎年度当初に農林水産関係職員を対象とした防疫研修会を開催しています。



本研修会は、今年は4月15日に開催され、高病原性鳥インフルエンザ防疫対応の概要、防疫作業従事者の応援業務の流れ(DVD視聴)、健康観察や動員者参集体制の説明に加え、昨年12月の本県における高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫対応や課題等についても研修を行いました。

現在、動員者のアンケートや関係者を参集した検証会での結果を踏まえて、発生時のマニュアルの改訂に取り組んでいるところです。

熊本型放牧畜産事業スタート！

狩尾・跡ヶ瀬牧野で熊本型放牧畜産事業による入牧が始まります。本事業は、平成8年から取り組み、生産コストや管理労力削減のみならず、牛の足腰の強化、過肥予防、青草給与による繁殖障害の防止、阿蘇地域の草地保全や景観の維持にも寄与しています。

このように人にとっても牛にとってもメリットの多い放牧ですが、同時に必要なのが**ピロプラズマ病**と**牛伝染性リンパ腫(EBL)の対策**です。今回は、ピロプラズマ病について紹介します。

ピロプラズマ病

- 牛の赤血球に寄生するピロプラズマ原虫によって引き起こされる病気
- 重度の寄生では、貧血や削瘦。妊娠牛では流産の原因となる可能性
※分娩前後の牛や放牧未経験牛は特に注意△
- マダニの吸血時に感染→予防はマダニ対策！
プアオンタイプ(背中に塗るタイプ)のピレスロイド系殺ダニ剤は3週間
間隔で塗布
※塗布後すぐに牛体が雨に濡れると効果が低減する点に注意



フタトゲチマダニ雌成ダニ

写真引用：牛のピロプラズマ病とアナプラズマ病（中央畜産会）

豚熱(CSF)ワクチン接種推奨地域に新たに3県追加

令和4年(2022年)3月、豚熱に感染した野生イノシシが広島県と山口県で確認されたことを受け、農林水産省は新たに**広島県**、**山口県**及び**島根県**の3県を飼養豚への豚熱ワクチン接種推奨地域に追加しました。これによって、**九州と北海道を除く39都府県**が指定されたこととなります。

豚熱は特徴的な症状に乏しい疾病です。発熱、食欲不振、うずくまりや下痢等の特定症状を確認したら、直ちに通報をお願いします。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国(1件)	産卵鶏	令和4年4月7日
		韓国(2件)	野鳥	令和4年3月23日~令和4年3月24日
	H5N2	台湾	家きん	令和4年4月2日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	野生いのしし	令和4年4月15日
		タイ	豚	令和4年4月1日
		ロシア	豚・野生いのしし	令和4年4月7日

令和4年(2022年)4月28日現在



毎月**20日**はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

